



一般社団法人電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2024年7月号

2024年度 第1回一次電池部会を開催

2024年6月19日(水)、植松部会長(セイコーインスツル株式会社)を議長に2024年度 第1回一次電池部会を機械振興会館での対面会議で開催した。開会に際して、植松部会長よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールに則り、部会進行する旨の宣言がなされた。清水専務理事の挨拶、続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。



植松委員長



清水専務理事

1. 議事内容

(1) 植松部会長の挨拶

今回より、前木村部会長より引き継ぐ形となった植松です。昨年度は、副会長として参加させて頂きました。このタイミングで多くの皆様が新規登録されていらっしゃるようなので、どうぞよろしくお願いいたします。

あと、昨年度より技術委員会傘下に対応 WG を設けて議論されてきた欧州 PFAS 規制への対応について、本年度より一次電池部会および二次電池第 2 部会それぞれの技術委員会傘下に PFAS 対応 WG を設けることが正式に決定されたとっております。

WG の皆様もどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 清水専務理事の挨拶

皆さん、こんにちは。専務理事の清水です。

5 月 15 日に理事会、5 月 31 日に定時総会が開催されました。これで、23 年度の最終決算についてすべて承認いただきました。よって、本格的に 24 年度の活動推進をお願いしたいと思います。

もう一点、1 月 1 日に発生しました能登半島沖地震において、一次電池部会が中心となって救援物資として乾電池・ランタンを各社のご協力で出荷致しました。総数としては、乾電池 202,500 本、ランタン 500 個です。この活動に対して、経産省より感謝状を頂く予定です。これまでは、我々の活動は営利活動でないということでお断りをしていましたが、純粋に各メーカーとして支援を行った結果であること、また、経済産業省の中に電池室が設立され電池が重要物資として位置付けられていることから、今回は感謝状をお受けすることとしました。

各会員企業の皆様のご協力に感謝申し上げるとともに、被災地の方にお役立ちできてよかったと思っています。ご協力ありがとうございました。

(3) 審議事項

1) 各専門委員会の活動報告

ボタン電池回収推進委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2023 年度の回収実績

・協力店数は微増、回収重量は微減。

・サンプリング調査：廃棄電池における会員の無水銀比率

の上昇を確認。

* 法改正対応

・水俣条約改正は完了。今後は条約改正を受けた国内法の改正をフォローしていく。

器具委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 委員会開催実績について

* 2024 年度 事業計画について

* BAJ ホームページ「携帯電灯の正しい使い方」の改訂検討について

* BAJ 規格「SBA S 1601 携帯電灯」改正検討について

* 今後の活動予定について

③ 資材委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2024 年度の委員会体制について

* 2024 年度活動テーマについて

* 2024 年度活動計画の詳細検討状況について

* 主要 4 材料（亜鉛・リチウム・ニッケル・コバルト）の需給・価格動向の確認結果について

* コンプライアンス（下請法他）順守に関する意見交換結果について

④ 消費者委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2024 年度の委員会構成員について

* 2024 年度事業計画について

* 2024 年度活動計画について

* 支援物資の供給可能数の定期更新結果について

* 能登半島沖地震の支援実績について

⑤ P L 委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2024 年度活動内容について

* 2024 年度委員会開催状況について

* 2023 年度一次電池重要クレーム情報まとめについて

* NITE 速報/国民生活センター 事故情報の共有結果について

⑥ 技術委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

1.JIS 規格原案作成

- ・JIS 改正原案の作成の活動がなく、報告内容なし。

2.IEC/TC35（一次電池）国際規格原案作成

- ・IEC 60086-1 2nd CD は 9 月発行予定、IS は 25 年 6 月を予定。

- ・IEC 60086-2 水溶液系と非水溶液系に分割する。

IS は 25 年 6 月を予定。

- ・IEC 60086-4 次版 IS は 25 年 2 月を予定。

ろ紙試験は、TR 化が承認された。26 年 1 月 TR 化予定。

- ・IEC 60086-5 日本から R-map の検証報告と Explosion の判定基準の提案を行ったが、継続審議となった。

- ・IEC 60086-6 コンベナーに Earnie Davis 氏(USNC) が就任。

- ・IEC62281 国際電池輸送委員会に参画、情報共有をおこなった。

3.コイン形リチウム二次分科会

- ・IEC61960-4 5 月の FDIS 投票で IS への移行が可決された。IS は 7/19 発行予定。

* その他事項

- ・TWG+開催報告 4 月開催された TWG+会議に参加。

- ・PFAS 規制対応 WG 主査、副主査の選任を行ったが、その場では決まらず、後日、決定した。

⑦ 国際環境規制総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

- * 国際会議参加：TWG+（日欧米電池専門家会議）

4 月 24 日 東京

- * 冊子「世界の電池環境規制の状況」第 13 版書籍版：

6 月発行済み

- * 地域別環境規制アップデート

- ・欧州：電池規則 カーボンフットプリント計算手法（EV 用電池）の意見公募

- ・北米：カリフォルニア州 PFAS 含有製品禁止法案、メイン州 PFAS 汚染防止法の改正法

- ・中南米：チリ リサイクル法で義務付けられている要件

- ・アジア：インド 電池規則の一部改正

- * 今後の活動計画：ICBR(国際電池リサイクル会議 9

月 スイス)、ほか

⑧ 広報総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

(1) PR 活動

- ・交通広告、Instagram でコイン形・ボタン形電池の乳幼児誤飲事故防止を啓発。

- ・情報誌、新聞、専門誌に広告を掲載して、自動車用バッテリーの定期点検・買替促進。

- ・月刊誌、SNS で小型充電式電池の回収・リサイクル、廃棄時の注意喚起。

(2) キャンペーン

- ・「電池は正しく使いましょう！」キャンペーンとして、7 月 3 週間に渡り毎日新聞に啓発記事を掲載。テーマは、①コイン形・ボタン形電池の誤飲防止②自動車バッテリーの点検・買替③小型充電式電池の回収・リサイクル、廃棄。

(3) イベント活動

- ・でんちフェスタを 8 月 31 日、福岡市科学館で開催。コンテツを準備中。

- ・手づくり乾電池教室・エネルギー体験教室の募集を実施。手づくり乾電池教室 15 件、エネルギー体験教室 1 件の申込があり、2 次募集を行う予定。

- ・経済産業省 こどもデー（8 月 7 日、8 日）への出展
“毎年夏休み期間中、キッズのみなさんが、経済産業省の仕事を楽しく学べるイベントとして開催（開催場所：霞が関 経済産業省）”され、今年初めて出展を行う。

(4) 情報発信

- ・機関紙「でんち」：毎月発行

- ・We LOVE DENCHI：内容更新し増刷。

(4) 事務局報告

1) 統計データ報告

2023 年度 1Q～4Q（4 月～3 月累計）の一次電池およびリチウム二次コインの販売数量・販売金額の実績動向について報告。

2) 次回開催日程

2024 年 9 月 18 日（水）13:30～ Microsoft Teams 会議

以上

関西蓄電池人材育成等コンソーシアム

近畿経済産業局より

関西バッテリーだより - DENCHY - を創刊

2024 年 7 月 1 日（月）近畿経済産業局より、今後脱炭素社会の進展とともに更なる成長が見込まれるバッテリー産業について、未来を担う若い世代を含め、多くの方にその魅力を“やわらかく”お伝えすることを目指して、「関西バッテリーだより - DENCHY -」が創刊されました。

「関西バッテリーだより - DENCHY -」では、今後バッテリー業界で活躍する企業の情報や社員の方々の声、バッテリー教育プログラムの実践風景等を順次お届けする予定です。

（一社）電池工業会(BAJ)は、近畿経済産業局、（一社）電池サプライチェーン協議会(BASC)と共に、当コンソーシアムに事務局として参加し、今後より多くの地域・教育機関等でのバッテリー教育実施に向けて、参画機関等と連携しながら取り組みの拡充を進めてまいります。

1. 関西バッテリーだより - DENCHY - 創刊について

GX・DX 等の実現にかかせない様々なイノベーションを支える基盤として、長期的な成長が見込まれるバッテリー（蓄電池）産業。経済産業省は 2022 年 8 月に「蓄電池産業戦略」をとりまとめ、2030 年までに国内 150GWh（年間）のバッテリー製造能力を確保する等の目標を打ち出しました。この実現に貢献するべく、バッテリー関連企業が集積しており、今後も更なる製造能力の拡大が見込まれる関西エリアにおいて「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」（事務局：一般社団法人電池工業会（BAJ）、一般社団法人電池サプライチェーン協議会（BASC）、近畿経済産業局）が設立され、バッテリーに係る人材育成・確保の取組についての議論を深めてきました。

一方で基盤産業であるからこそ、バッテリーは一般の目に触れる機会が少なく、その魅力が十分に認知されていないのではないかと考えています。

「関西バッテリーだより - DENCHY -」では、今後脱炭素社会の進展とともに更なる成長が見込まれるバッテリー産業について、未来を担う若い世代を含め、多くの方にその魅力を“やわらかく”お伝えすることを目指しています。

様々なゲストへのインタビュー記事も近畿経済産業局より順次お届けしますので、ぜひご覧ください。

2. 関西バッテリーだより - DENCHY -記事リンク先



①いま、バッテリー産業がアツい。- バッテリー産業の未来 (1) 創刊号- (PDF 形式)

https://www.kansai.meti.go.jp/3jisedai/battery/denchy/vol_1.pdf

②いま、バッテリー産業がアツい。- バッテリー産業の未来 (1) 創刊号- (Note 形式)

note はアカウントを保有していない方でもイネ（スキ♥）が出来ますので、是非ご覧下さい

https://smepprd-kansai-meti-gov.note.jp/n/nd966bb833ac6?magazine_key=m8ead65afc796

【参考】関西蓄電池人材育成等コンソーシアムについて
関西蓄電池人材育成等コンソーシアムは、蓄電池関連産業が集積している関西エリアにおいて、バッテリー人材の育成・確保等に資する取組を推進するため、発足しました。2024 年 7 月 5 日現在、産業界、教育機関、自治体、支援機関等、計 47 機関が参画しています。
（事務局：BAJ・BASC・近畿経済産業局）

2024 年 6 月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
二次電池部会	14日(金)	広報総合委員会	経済産業省 こどもデー内容検討他
	17日(月)	据置鉛分科会	SBA S 0301 可搬鉛蓄電池 改正審議
	17日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域234号変更申請および新規広域認定取得打ち合わせ
	20日(木)	小形鉛分科会	SBA G 0206 小形制御弁式鉛蓄電池を使用する キュービクル - 熱設計に関する技術指針 改正審議
	21日(金)	自動車鉛分科会	SBA G 0101 始動用鉛蓄電池の安全・取扱い指針 改正審議
	21日(金)	充電器分科会	JIS C 4402 浮動充電用サイリスタ整流装置の改正審議 他
	28日(金)	電気車鉛分科会	SBA S 0803 電気車用バッテリープラグ改正審議他
二次電池第2部会	7日(金)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	11日(火)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	12日(水)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	13日(木)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 ED2 CD審議
	14日(金)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	14日(金)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	19日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	19日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	20日(木)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	27日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議
一次電池部会	4日(火)	コイン形リチウム二次分科会	IEC61960-4 Ed2審議
	5日(水)	規格委員会	IEC60086-1、86-2-1、86-2-2、60086-4審議
	6日(木)	規格委員会	IEC60086-5、MT17、IEC62281審議
	7日(金)	技術委員会	国際幹事、規格委員会、コイン形リチウム二次分科会からの報告
	21日(金)	PL委員会	安全啓蒙に関する審議
	26日(水)	器具委員会	BAJ規格「SBA S 1601 携帯電灯」の改正審議

4 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2024 年 4 月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	297,000	115,221	88%	95%	1,162,971	506,821	87%	102%
一次電池計	211,330	9,141	104%	107%	788,686	34,864	103%	108%
酸化銀電池	50,826	1,648	90%	122%	198,798	6,310	90%	117%
アルカリ乾電池計	94,564	3,798	105%	102%	338,650	13,555	100%	99%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウム電池	65,940	3,695	115%	107%	251,238	14,999	120%	115%
二次電池計	85,670	106,080	64%	94%	374,285	471,957	66%	101%
鉛電池計	2,059	15,132	99%	106%	9,557	76,018	96%	105%
自動車用	1,586	10,284	100%	105%	7,409	48,950	96%	104%
その他の鉛蓄電池	473	4,848	96%	111%	2,148	27,068	94%	108%
アルカリ蓄電池計	27,975	30,587	84%	118%	112,056	115,670	85%	120%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のアルカリ蓄電池	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン蓄電池計	55,636	60,361	56%	83%	252,672	280,269	60%	94%
車載用	35,126	47,705	41%	72%	173,834	228,718	49%	87%
その他	20,510	12,656	150%	186%	78,838	51,551	115%	146%

4 月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2024年 4月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
			前年比	前年比			前年比	前年比
全電池合計（輸 出）	151,881	63,488	84%	102%	589,687	238,475	78%	103%
一次電池計	94,481	3,188	111%	113%	344,605	12,767	95%	108%
マンガン	7	0	－	－	29	1	－	－
アルカリ	12,397	292	162%	187%	34,909	798	71%	84%
酸化銀	47,181	1,215	100%	109%	180,925	5,080	98%	120%
リチウム	34,896	1,678	115%	109%	128,742	6,876	100%	105%
空気亜鉛	0	0	－	－	0	0	－	－
その他の一次	1	4	1343%	38%	1	11	1085%	11%
二次電池計	57,400	60,300	60%	102%	245,081	225,708	62%	102%
鉛蓄電池	146	1,288	145%	168%	536	4,850	123%	135%
ニカド	211	77	103%	102%	618	209	52%	55%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	12,720	13,298	191%	101%	41,700	52,433	143%	122%
リチウムイオン	34,268	37,614	41%	104%	162,987	144,911	47%	100%
その他の二次	10,055	8,023	202%	89%	39,240	23,305	243%	83%
全電池合計（輸 入）	137,984	50,484	109%	131%	472,839	187,743	95%	119%
一次電池計	129,890	2,743	109%	121%	443,026	9,689	95%	105%
マンガン	10,429	185	151%	173%	34,130	566	95%	90%
アルカリボタン	2,393	26	71%	96%	10,475	107	82%	97%
アルカリその他	95,037	1,437	104%	102%	337,569	5,484	95%	102%
酸化銀	142	9	197%	231%	693	39	131%	170%
リチウム	12,696	619	108%	102%	43,794	2,289	109%	96%
空気亜鉛	9,190	177	163%	162%	16,347	377	83%	77%
その他の一次	3	287	1684%	11766%	18	829	265%	374%
二次電池計	8,094	47,741	110%	131%	29,814	178,054	95%	119%
鉛蓄電池	689	4,935	95%	111%	3,069	19,095	94%	103%
ニカド	23	408	49%	321%	230	993	122%	139%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	2,206	454	113%	96%	7,145	1,556	97%	92%
リチウムイオン	5,171	35,832	111%	131%	19,341	128,508	95%	117%
その他の二次	4	6,113	67%	153%	30	27,901	22%	153%